第十九條　鍬下年期明ノトキハ其地價ヲ修正ス若シ其開墾當初ノ目的ニ達セス他ノ地目ニ轉スルモノハ其地ノ現況ニ依リ地價ヲ修正ス

第二十條　荒地ハ其被害ノ年ヨリ十年以内免租年期ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復ス

第二十一條　免租年期明ニ至リ其地ノ現況原地價ニ復シ難キモノハ十年以内七割以下ノ低價年期ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復ス

第二十二條　低價年期明ニ至リ尚ホ原地價ニ復シ難キモノ及ヒ免租年期明ニ至リ原地目ニ復セス他ノ地目ニ變スルモノハ其地ノ現況ニ依リ地價ヲ定ム

第二十三條　免租年期明ニ至リ尚ホ荒地ノ形狀ヲ存スルモノハ更ニ十年以内免租繼年期ヲ定ム其年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キモノハ第二十一條第二十二條ニ依テ處分ス

第二十四條　川成、海成、湖水成ニシテ免租年期明ニ至リ原形ニ復シ難キモノハ更ニ二十年以内免租繼年期ヲ許可ス其年期明ニ至リ尚ホ原地目ニ復セス他ノ地目ニ變セサルモノハ川、海、湖、ニ轉スルモノトシ其地券ヲ還納セシム

第二十五條　土地ヲ欺隱シ地租ヲ逋脫スル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處シ現地目ニ依リ地價ヲ定メ欺隱年間ノ地租ヲ追徵ス但地租改正ノ初年以前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十六條　第十一條第十六條ニ違犯スル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其免租地ヲ有租地ト爲シ又ハ開墾ヲ爲スコトヲ許可スヘキモノハ現地目ニ依リ地價ヲ定メ其地租增額ヲ追徵ス但地租改正ノ初年以前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十七條　第十條第十七條ニ違犯スル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第二十八條　第二十五條以下ノ所犯借地人、小作人、ノ所爲ニ係リ所有主其情ヲ知ラサルトキハ其借地人、小作人、ヲ罰シ地租ハ所有主ヨリ追徵ス

第二十九條　第二十五條第二十六條第二十七條第二十八條ノ刑ニ當ル者自首スルトキハ其罰金科料ヲ免ス但其追徵スヘキ地租ハ仍ホ之ヲ納メシム

○東京府告示乙第四十一號

明治十六年當廳乙第八十號ヲ以岡山縣淺口郡玉島港出入ノ船舶ヨリ燈費取立方ノ儀告示致置候處自今同港出入ノ船舶ハ勿論字下水島以北字蓑笠毋及丸山ノ間ニ碇繫スル船舶ヨリモ燈費可取立旨右縣廳ヨリ通知有之候條此旨告示候事

明治十七年三月十五日　東京府知事芳川顯正

時事新報

佛軍北寧ヲ陷レタリ

去ル十一日香港發ノ電報ニ佛軍ハ北寧ニ向テ總進擊ヲ始メタリ北寧ノ衛兵中ニハ多數ノ支那兵アルヲ見出シタリトアルヲ見テ我輩ハ思フニ北寧ハ支那政府ガ最後ノ畫線ト爲スノ要衝ニシテ佛軍ニシテ果シテ此地ニマデモ攻擊ヲ試ルアレハ支那政府ハ直チニコレヲ取テ佛國ガ支那ニ向テ宣戰シタルモノナリト認ムベシトマデニ公言シタル極メテ重要ノ場所ナレハコノ進擊ハ其關係スル所決シテ尋常一樣ナルベカラズ殊ニ北寧守衛ノ兵ハ支那黑旗隊軍ヲ合シテ一万五千乃至二万餘人ト人説サヘアリタルナレハ軍務ノ多少ヲ云フ迄ハ佛軍ノ方必ズ遙カニ劣ル所アラン此度擊防守ノ結果如何ト頭ヲ延ヲ待ツ所アリシニ本日ノ紙上ニ掲載スル如ク去ル十四日香港並ニ倫敦發ノ電報ニ佛軍ハ北寧城外ノ二壘ヲ奪取シ敵兵ハ城内ニ退去シタリ佛軍ハ十二日ヲ以テ北寧ヲ陷レタリ佛軍ノ失フ所負傷七十二名ナリトアリ左レハ佛軍ハ先ヅ北寧城外ノ二壘ヲ取リ尋テ去ル十二日ヲ以テ北寧ノ本城ヲ陷レ佛軍ノ失フ所ハ唯僅々ノ負傷者ノミナリト知ラル先ヅ城外ノ二壘ヲ取リ次ニ本城ニ迫リテ遂ニコレヲ陷レタリ此間必ズ敵ノ抵抗防戰スル者アリテ佛軍ノ强ト雖ヒ無人ノ地ニ行軍スルガ如キモノニアラザリシハ万明白ノ事ナルベシ然ルニ佛軍ノ失フ所ハ一人ノ戰歿ダモナク僅カニ七十二人ノ負傷ニ止マリタリト云フヲ見テ我輩ハ此戰爭ノ餘リニ手輕ナリシニ驚キ片言未タ遽カニ信ヲ措キ難シトノ疑心ナキヲ免カルヽ能ハス然レヒ北寧ヲ陷レタリトノ事ハマサカニ無根ノ作説ニテハアルマジク支那黑旗隊軍ノ死守スル堅城モ思ヒノ外ノモノナリシト人ヲシテ一驚一歎ニ違アラザラシムルナリ

東京事件ニ關シ清佛兩國間ノ葛藤ニ漸ク利害ノ重大ナル事相ヲ呈シタル以來既ニ一年ニ近シ此間北京駐在ノ佛國公使「ブーリー」氏ハ總理衙門ト談判ノ始末餘リニ柔和退讓ニ過ルトテ其職ヲ免シテ本國ニ喚還サレ新任公使「トリクー」氏ハ李鴻章ト上海ニ會合シテ大ニ論議スル所アリ米國公使「ヨング」氏モ其中間ニ處シテ頗ル奔走周旋スル所アリシト雖ヒ議事遂ニ諧セス三旬ノ談判應答モ空シク一片ノ水泡ニ歸シ「トリクー」公使モ遂ニ亦其任ヲ解キテ支那ヲ去リタリ又佛京駐在ノ曾紀澤公使ハ北京政府ノ命ヲ奉シテ佛國政府ト談判スルニ其手段酥氣等或ハ緩ナルガ如ク或ハ急ナルガ如ク或ハ强ク或ハ弱ク其眞意ノ何レニ在ルヤヲ人モ知ラズ自家モ知ラザルガ如キ有樣アリテ坐ロニ傍觀ハヲシテ睡眠ヲ思ハシメタリ又此支那公使ト應對スル佛國政府ニ於テモ共和政治ノ病弊トシテ果斷判然ノ所權ニ乏シク使違歲月ヲ經過シテ時ニ當局ノ執權者ヲ更迭スル等陰晴ノ定マラザル秋天一般ノ觀ナキニ非ズ然レヒ佛國政府ガ支那政府ニ優ル所一歩ナルハ秋天ノ一陰一晴シテ人ヲ迷惑セシムル中ニモ其目的トスル所塞威ヲ催スノ一事ニ於テハ唯進ムヲ知テ退クヲ知ラズ金風起テ白露降リ白露變シテ霜ト爲ルガ如ク今日一隊ノ援軍ヲ東京ニ送リ明日一隻ノ軍艦ヲ廣東ニ廻ハシ一隊一艦遂ニ目下東京海陸ノ强盛ナル佛軍ヲ成スニ至リタリコレヲ支那政府ノ容易ニ發言シテ容易ニ其言ヲ踐ムヲ忘レ遂ニ以テ己レニ益スル所アルヲ見ザルモノニ比スレハ同日ノ論ニアラズト云フベキナリ畢竟スルニ今回ノ東京事件ダルヤ佛國ハ主人ニシテ支那ハ客ナリ支那ニシテ佛國ノ東京ヲ押領スルニ異存ナカランカ兩國ノ葛藤ハ一朝ニシテ氷解スベシ北寧沒落シテ支那兵境ニ退キ敢テ佛國ノ新殖民地ト對ヲ開クヲナカランカ佛國ハ喜テ支那ト境ヲ接シ永ク東京ノ地ヲ領シテ不滿ヲ懷クヲナカルベシ

今ヤ北寧城沒落シテ佛軍ハ最後ノ畫線ニ侵入シタリ然ルニ此時ニ臨ミ支那政府ハ前言ヲ踐ミテ直チニ宣戰シタル跡モナキハ全ク東京ニ對スルノ主宰權ヲ拋棄シテ相關スルヲナカラントスルノ決心ナラシカト疑ハルヽナリ或ハ前日ヨリ世上ニ風説スル如ク英米ノ政府ハ佛軍ガ北寧ヲ陷ルノ日ヲ待テ清佛兩政府ノ間ニ入リ和解ノ周旋ヲ爲サントスルノ企アリト云フヲ恃ミ筋ニ大ニ待ツ所アリテ然ルモノカ好シ風説ノ如ク英米政府ノ和解中裁アリトスルモ佛國ハ一旦零取シタル紅河ノ沿岸山西北寧地方ヲ蓮築シテ再ビ支那ノ手ニ委セントスルノ意アルベシトモ思ハレズ若シ佛國ヲシテ東京ヲ必取スルノ決意ナカラシニハ何ゾ今日ノ戰爭ヲ用ヒン既ニ今日ノ戰爭アリ飽クマデ東京ヲ占領スルノ決意タルヤ言ハズシテ知ルベキノミ萬一英米ノ中裁ニ由リテ佛國ノ退讓スル所モアランカト云ハヾ唯此東京事件ノタメニ此上支那ニ對シテ償金ヲ要求スルノ企ヲ廢スル位ニ止マルナルベシ英米ノ中裁其利決シテ恃ムニ足ラザルナリ

電報

○三月十四日龍動發　北寧ハ佛軍ノ爲ニ陷されたり但し委細は未ダ詳らかならず○(後報)佛軍は去十二日と以て北寧を乘取りたり、攻撃の時敵よりは只薄弱なる抵抗を爲したり、故ゑ佛軍の死傷僅少なり

○三月十四日香港發　佛軍は北寧の攻圍地ゑ於て二ケ所の壘を拔ク敵軍は退て城内ゑ堅守せり○(後報)北寧は陷され佛軍の負傷七十二人なり

○三月十四日香港發　スアキムの近地にて兩軍交戰し英軍ハ全勝利を獲、その死傷亦少し

○三月一日龍動發　部區參政權擴張ゑ關する詳報に據るに新議案には三王國(英蘭、蘇格蘭、愛蘭)を通去て同一の政權を與ふる條項あり

○三月二日龍動發　スアキムよりの最近報ゑよるゑ賊軍ハゴルドン、パシヤ(英將ゴルドン氏のとう)の爲に全敗と受けたり而して英軍の死傷ハ五十人敵の死傷一千人なりと云へり

○三月三日龍動發　スアキムよりの報道に由るゑ英軍は守トーカルの地ゑ占有せり

○三月四日龍動發　ブライトンの代議士敬進党員マリナット氏ハ政府ゑ非難するの投票ゑ左袒したるに由て議席ゑ辭したり然るゑ今回は前回よりも大多數を以て保守党の候補に撰されたり

雜報

○參內謁見　一昨十五日華族毛利元德、同伊達宗城、同黑田長博の三君は赤坂仮皇居へ參內謁見仰付られたり

○下賜金　共立統計學校設立の趣　敬聞に違し去る十四日宮內省より金五百圓を下賜りたり又岡山縣下備中國窪屋郡倉敷村平民林孚一氏ハ經濟會計後個事に盡力し且篤行の聞も之ゆり奇特の至ゑ付同日同金百圓を下賜りたりと

○相撲下賜品　去十日濱離遊館に於て相撲　天覽在らせられたるゑ付一昨日總代高砂浦五郎、境川浪右衛門の兩人と